

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



国民生活センターの商品テスト

町田市議会では相模原市議会との1年ぶりの交流会を実施しました。その視察研修では相模原市内にある国の独立行政法人「国民生活センター」を訪ねました。その国民生活センターでは、各地域の消費生活センターで表示や効能、安全性などに問題があるとされた様々な商品がテストされるのを見せていただきました。その測定結果は、各消費生活センターに書面で返信されているとのことでした。また、国民生活センターでの商品テストの結果は、消費者庁に伝えられ、商品の供給制限、販売方法の改善にも活用されているとのことでした。



施設の検査室では、食品や化粧品等類を化学的な検査を行い、CT スキャンを使って商品を分解せずに内部を精査する非破壊検査を実施し、一方では、耐火処理を施した室内で難燃度を測る燃焼テストを施し、物理的に商品の一部を破壊する安全性・耐久力の検査が様々に行われていました。そうした検査で、産業用ロボットが活躍している姿が印象的でした。

子ども食堂とシルバー食堂

参加した清溪セミナー（超党派地方議員の研修会）の講演（福岡政行氏）では、子ども食堂が全国4000か所で展開されていること、毎年1000か所で新たに開設されていることが述べられました。他方で、高齢者向けにシルバー食堂が合わせて必要ではないかと述べられました。場所的に、両者を併設したのも提起され、新規に一人暮らしの高齢者の憩いの場を作ろうというものでした。その手法は、＜民官一体＞とされ、ボランティアで公務員が支えるものが想起され、一般の参加者は有償ボランティアと見なされています。

このシルバー食堂に関して、それを地域で運営していくことの重要性が高まってくると思います。現行、デイサービスや配食事業サービスがありますが、それらの金銭負担が困難な人の場合、重要な意義があるでしょう。他方で、元気な高齢者がこのシルバー食堂事業にもっともかかわりが生じる可能性があると思います。それは、将来的な負担をどこで、どのような方法で軽減するかという課題につながりますが、この福岡氏の講演課題はその対処法に通じるものを感じました。



★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

インターン体験記②中里叶夢

今回は初めに町田市の農業振興課に伺いご挨拶をさせていただきました。その後、JAの金融店舗、アグリハウスの見学、造園用の苗木を育苗していらっしゃる農家さんのもとをお訪ねするとともに町田市で作物の栽培が行なわれている農地をまわり、見学してまいりました。

農業振興課の担当者の方に町田市名産のシルクメロンの栽培施設の見学に向けて日程の調整をいただけたことで大変嬉しく思っております。私は農学部にも所属しております。つい先週までメロンを栽培しておりました。その栽培の過程では病害に悩まされたということもあり水耕栽培における病害対策などについてもお尋ねできれば現在の学びがより深まると考え期待しております。また、農地の様子を見学させていただいた中で付近に農地から住宅用に造成された土地が見られました。その様子から町田市において農業が難しくなっているのではないかと感じました。近年難しくなっていると考えられる農業経営への取り組みについても学びを深めたいと考えております。



玉川大学 2 年生 中里 叶夢(第 44 期生)

インターン体験記③-1 中里叶夢

吉田勉さんが実行委員を務める清溪セミナーという、地方議員の方々の勉強会に参加させていただきました。清溪セミナーは2日にわたって開催され、災害対策と男女共同参画という二つのテーマを軸にした講義を受けさせていただきました。初日の講義後には防災ワークショップが開催され、地方議員の方々や研究者の方と討論を行いました。



玉川大学 2 年生 中里 叶夢(第 44 期生)

私たちのグループで扱った題材は、実際の災害で起こりうる障害に対する問題点を指摘し、その改善策を提案するというものでした。例を挙げると「津波が来ると分かってからおどおどしてどこに行ったらいいか分からない妊婦さんがいる。」という一文から問題点は避難場所がわからないことであり、その改善のためには転居時や母子手帳交付時に防災マップを配布したり、避難訓練の実施曜日を都度変えて参加率を上げる必要があるといった意見が交わされました。私は討論を行った班での討論の内容をまとめ、全参加者の前で発表しました。参加者全員を前にした発表であり、なおかつトップバッターということもあり、とても緊張しましたが、無事に発表を終えることができました。貴重な経験になりました。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。